

インド太平洋地域の海洋安全保障と『法の支配』の実体化に向けて
国際公共財の維持強化に向けた日本外交の新たな取りくみ

平成31年3月



公益財団法人日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

本報告書は、当研究所の平成 29～31 年度外務省外交・安全保障調査研究事業（総合事業）「インド太平洋の海洋安全保障と『法の支配』の実態化に向けて：国際公共財の維持強化に向けた日本外交の新たな取り組み」の 2 年目の研究成果を取りまとめたものです。

太平洋とインド洋という二つの海をまたぐ「インド太平洋」地域においては、自由で開かれた、国際法に基づく海洋秩序こそが、21 世紀の繁栄の基礎となります。しかし、この地域では中国による海洋進出などの伝統的脅威、多くの自然災害や海賊、海難事故などの非伝統的脅威、また沿岸諸国の海上警備能力や港湾施設の未整備など、課題が山積している状況です。日本は、インド太平洋地域の海洋秩序に大きな関心と責任を有する海洋国家として、こうした問題に積極的に取り組むため、2016 年以降「自由で開かれたインド太平洋戦略／構想」を外交政策の主軸として推進し、価値や戦略的利益を共有する米国や豪州、インド、東南アジア、太平洋諸国などの国々との協力を進めてきました。

一方、一部の国においてインド太平洋構想への不信感が存在するのも事実です。また、インド太平洋構想自体が未だ進化の途上にあり、その具体性や実効性が問われています。日本のインド太平洋構想が、海洋安全保障、連結性、普遍的価値などの分野で『法の支配』の原則を実態化し、海洋を誰もが自由に利用できる国際公共財として維持する実効性を持つ外交政策となるため、現状の安全保障環境の学際的分析を踏まえた現実的な政策提言がより一層求められています。

以上のような背景や問題関心を踏まえ、今年度の研究活動では、インド洋地域の安全保障環境や海洋をめぐる紛争、域内諸国の海洋を中心とした安全保障政策を取り上げ、インド洋地域の地政学的ダイナミズムを検討することを試みました。本報告書には委員諸氏の専門的知見と議論の積み重ねが反映されております。

なお、ここに表明されている見解はすべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありません。今回の研究成果が、我が国のインド太平洋構想の具体化と域内諸国での受け入れ拡大に向け、有益な視座を与えるものとなることを期待します。最後に、本研究に真摯に取り組まれ、報告書の作成にご尽力いただいた執筆者各位、並びにその過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

平成 31 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 佐々江 賢一郎

研究体制

主査： 菊池 努 青山学院大学教授・副学長／日本国際問題研究所上席客員研究員

諮問委員： 竹内 春久 元駐シンガポール特命全権大使
中谷 和弘 東京大学大学院法学政治学研究科教授
鮎田 英一 鹿島建設株式会社顧問

委員： 石井 由梨佳 防衛大学校人文社会学群国際関係学科准教授
大庭 三枝 東京理科大学工学部教授
小原 凡司 笹川平和財団上席研究員
加藤 洋一 アジア・パシフィック・イニシアティブ研究主幹
小谷 哲男 明海大学准教授／日本国際問題研究所主任研究員
神保 謙 慶應義塾大学総合政策学部教授
田所 昌幸 慶應義塾大学法学部教授

(敬称略)

委員兼幹事： 中山 泰則 日本国際問題研究所所長代行
中川 周 日本国際問題研究所研究調整部長
花田 龍亮 日本国際問題研究所研究員
担当助手 平林 祐子 日本国際問題研究所研究助手

外部協力者： ダルシャナ・バルーア

カーネギー・インディア副所長

目 次

中間報告書刊行に寄せて：自由で開かれたインド太平洋とは？	
	竹内 春久 ……………1
序論 インド太平洋に地殻変動は起こるか？－「新しい地域（ベンガル湾）」構築の可能性	
	菊池 努 ……………5
第1章 インド太平洋地域の地政学－大国間競争の現状と展望（中間報告）	
	加藤 洋一 …… 21
第2章 大国を目指すインドとインド洋の秩序（中間報告）	
	田所 昌幸 …… 37
第3章 中国のインド洋への軍事進出（中間報告）	
	小原 凡司 …… 49
第4章 アメリカのインド太平洋戦略：日米同盟へのインプリケーション（中間報告）	
	小谷 哲男 …… 61
第5章 海洋安全保障と法の支配：「海洋中の群島水域」概念を素材に	
	石井 由梨佳 …… 71
第6章 「インド太平洋」の多様性：ASEANからの視点（中間報告）	
	大庭 三枝 …… 81
第7章 東南アジアでの能力構築における日本－米国－オーストラリアの協力（中間報告）	
	神保 謙 …… 93

